

平成 29 年 10 月 4 日

各 位

会社名 株式会社 A C K グループ
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(JASDAQ・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエンタルコンサルタンツ「2017 年度 グッドデザイン賞」を 2 件受賞 **路面電車停留場 [札幌市路面電車停留場 (狸小路停留場、西 4 丁目停留場 (内回り))]** **換気塔 [高速神奈川 7 号横浜北線 新横浜換気塔・馬場換気塔・子安台換気塔]**

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）がデザインを担当した、「札幌市路面電車停留場」と、「高速神奈川 7 号横浜北線 新横浜換気塔・馬場換気塔・子安台換気塔」の 2 件が、このたび、2017 年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞いたしました。

「札幌市路面電車停留場」は、札幌市が平成 27 年 12 月の路面電車ループ化（都心線）開業に合わせ、都心部に新たに設置したものであり、札幌の新しい顔（アイデンティティ）を創出し、駅前通りの一体活用による賑わいづくりと、都心生活を充足する使いやすさ、まちづくりへの展開を図ることをコンセプトにデザインいたしました。

「高速神奈川 7 号横浜北線 新横浜換気塔・馬場換気塔・子安台換気塔」は、平成 29 年 3 月に開通した首都高速道路の横浜北線の 3 か所の換気塔であり、路線全体のトータルデザインコンセプトを理念として、それぞれの地域環境に合わせたデザイン方針により“環境創出型換気塔”として、デザインを実現したものです。

同社では、今回の受賞を契機に、今後も地域の歴史・文化を融合した観光振興・地域振興に資する良質な公共空間のデザインの提供を目指し、国内外で社会に貢献できる、様々な事業展開を積極的に進めていく方針です。

グッドデザイン賞受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2017」に出展

本年 11 月 1 日（水）から東京ミッドタウンで開催される、最新のグッドデザイン全件が集まる受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2017」において、「札幌市路面電車停留場」と、「高速神奈川 7 号横浜北線 新横浜換気塔・馬場換気塔・子安台換気塔」が本年度受賞デザインとして紹介されます。

<GOOD DESIGN EXHIBITION 2017>

会期：11 月 1 日（水）～11 月 5 日（日）

会場：東京ミッドタウン（東京都港区六本木）

<http://www.g-mark.org/gde2017/>

グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957 年創設のグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組みです。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞で、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「G マーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルとして広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>

※写真データを用意しています。下記お問い合わせ先までご請求ください。



<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL:<http://www.oriconsul.com/>
統括本部 宮内、伊藤

- 受賞対象名：路面電車停留場 [札幌市路面電車停留場 (狸小路停留場、西4丁目停留場 (内回り))]
- 事業主体名：札幌市
- 概要：本停留場は、都心の賑わいの軸である駅前通における路線延伸（ループ化）に合わせ、都心の魅力をより高める新たな回遊性や賑わいを創出するため、商店街近傍に新設された。車両が歩道側を走行するサイドリザーベーション方式を採用したことから、設置位置は歩道上とした。歩道との一体感を持たせたデザインとしたことで、利用者がスムーズに導かれ、街並みや風景に溶け込み、開放的で透明感のあるものとしている。さらに、木製ベンチを導線に配慮して配置し、乗降者はもちろん歩行者に憩いを提供するなど、人にやさしく温もりを感じる空間としており、路面電車のループ化で目指す「人が主役の魅力あるまちづくり」を象徴する施設となっている。
- プロデューサー：札幌市
 - ディレクター：株式会社オリエンタルコンサルタンツ(太田啓介)
 - デザイナー：株式会社ネイ&パートナーズジャパン(渡邊竜一)、NEY & PARTNERS(Laurent NEY)
- グッドデザイン賞審査委員による評価コメント：

都市環境を向上させるため、LRTなどの路面電車の価値が復活して久しい。電停は、日本中にいくつあるのだろうか。シンプルかつ美しい、こんな電停が増えていけば、我が国の都市景観も格段と良くなっていくだろう。

 GOOD DESIGN AWARD
2017年度受賞



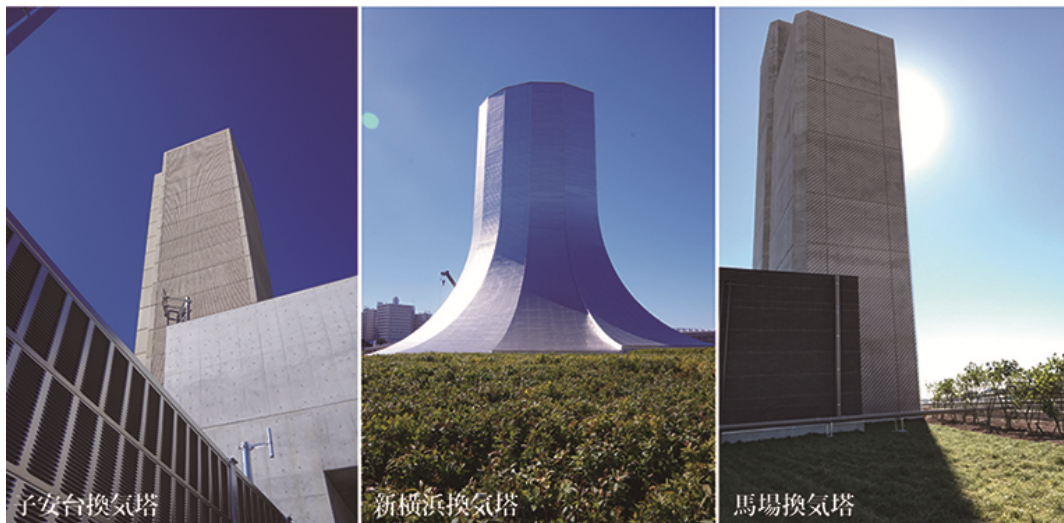
狸小路停留場(外回り)内観

photo: momoko japan

- **受賞対象名**：換気塔 [高速神奈川7号横浜北線 新横浜換気塔・馬場換気塔・子安台換気塔]
- **事業主体名**：首都高速道路株式会社
- **概要**：高速神奈川7号横浜北線（北線）は、首都高横羽線と大黒線の生麦JCTから第三京浜の横浜港北JCTをつなぐ約8.2km。そのうち約7割区間の「横浜北トンネル」は3箇所換気塔を有しそのデザインは、北線トータルデザインコンセプト「URBAN ∞ NATURE（次世代都市空間と自然の調和）」の理念を基軸に“環境創出型換気塔”としてデザインを実現。
- **プロデューサー**：首都高速道路株式会社 神奈川建設局長 寺山徹
ディレクター：横浜環状線 景観アドバイザー会議 国吉直行、杉山和雄、鈴木智恵子、吉田慎悟
デザイナー：首都高速道路（株）藤井健司、前田尚孝、須坂広治、田中智隆、岡田貴司、小野寺晋治、中野裕晶+（株）オリエンタルコンサルタンツ 宮内和則、太田啓介、金野拓朗+（株）日総建 勝山真、豊島裕樹、直井端樹+（株）石本建築事務所 松永裕一、村田輝彦
- **グッドデザイン賞審査委員による評価コメント**：
 換気塔のような、必然的に出てきてしまう構造物をきちんとデザインすることは、日本の景観をボトムアップしていく上でとても重要。時に、やりすぎのデザインとなってしまうこともあるが、この作品はデザインの抑制もきちんと効いており、非常に質が高い。



次世代都市空間と自然の調和
URBAN ∞ NATURE



横浜北線のトータルデザインコンセプトと換気塔



新横浜換気塔、馬場換気塔